

ひまひまデータ

数字で遊ぶ
ボートレース

SG初優出・初優勝、SG連続優勝した佐藤隆太郎選手。この記録、史上初だけのものすごい出来事でした

表1-1●GI優勝0回のままSG初優勝した選手

年月日	SG初優勝	登番	選手名	通算優勝回数			
				SG	GI	GII	
1964/05/05	地区対抗	1488	岡本 義則	3	31	2	SG→GI→GII達成
1975/10/12	ダービー	2260	林 通	2	3	1	SG→GI→GII達成
1980/03/11	クラシック	2760	中本 逸郎	1	0	0	
1984/10/12	ダービー	2606	半田 幸男	1	2	0	SG→GI
1989/03/30	クラシック	2446	高橋 博文	1	0	0	
1991/10/14	ダービー	2273	原田 順一	2	2	0	SG→GI
1992/10/12	ダービー	3422	服部 幸男	4	21	2	SG→GI→GII達成
1997/10/12	ダービー	3622	山崎 智也	11	31	2	SG→GI→GII達成
1997/12/23	GPシリーズ	3233	小畑 実成	1	0	1	GII→SG
2000/03/20	クラシック	3347	矢後 剛	1	1	0	SG→GI
2001/10/28	ダービー	3381	滝沢 芳行	1	0	0	
2003/03/30	クラシック	3589	西村 勝	1	1	0	SG→GI
2003/08/03	オーシャンC	3719	辻 栄蔵	3	9	0	SG→GI
2005/03/27	クラシック	4019	笠原 亮	2	5	1	SG→GI→GII達成
2006/12/24	GPシリーズ	3946	赤岩 善生	1	6	2	SG→GI→GII達成
2007/10/08	ダービー	3517	高橋 勲	1	0	0	
2008/10/13	ダービー	4042	丸岡 正典	2	4	0	SG→GI
2010/05/30	オールスター	4296	岡崎 恭裕	1	4	1	SG→GI→GII達成
2012/03/20	クラシック	3612	馬袋 義則	1	0	1	SG→GII
2015/12/23	GPシリーズ	4266	長田 頼宗	1	2	1	SG→GI→GII達成
2018/11/25	チャレンジC	4262	馬場 貴也	5	7	1	SG→GI→GII達成
2022/07/24	オーシャンC	4787	椎名 豊	1	1	1	GII→SG→GI(変則優勝)
2024/05/26	オールスター	5121	定松 勇樹	1	0	0	
2025/03/30	クラシック	4847	佐藤隆太郎	2	0	0	

■ = G I 優勝 0 回 の ま ま SG 優勝 2 回

表1-2●GI優勝0回でSG出場した結果

	出場	準優	優出	優勝			
GI優勝0回	2153	571	26.5%	155	7.2%	20	0.93%
GI優勝あり	9894	3587	36.3%	1405	14.2%	240	2.43%
合計	12047	4158		1560		260	

表1-3●SG優出0回でSG出場した結果

	出場	準優	優出	優勝			
SG優出0回	2854	687	24.1%	180	6.3%	28	0.98%
SG優出あり	9193	3471	37.8%	1380	15.0%	232	2.52%
合計	12047	4158		1560		260	



3月のクラシックでSG初優出・初優勝した佐藤隆太郎選手が5月のオールスターでも優勝しました！しかもGI優勝0回のまま、SGV2です。GI優勝なしでSG優勝した選手といえば、最近では椎名豊選手や定松勇樹選手がそうでした。そもそもGIを勝ったことがない選手がSGに出場した場合、どんな結果になっていたのでしょうか？

そしてSG初優出・初優勝した選手は96年以降28人目でしたが、その選手は次のSGでどんな成績を残していたのでしょうか？色々と調べ

GI優勝0回のままSG優勝2回

わかる範囲で歴代でGI優勝0回のままSG優勝をした選手を集めてみました(表1-1)。少なくとも24人います。服部幸男選手や山崎智也選手もそうでしたね。そのうち16人はその後にGI優勝を達成。8人は今もGI優勝がない状況となっています(うち2人は引退)。

その24人のなかでもGI優勝0回のまま2回目のSG優勝を達成した選手は、佐藤隆太郎選手で4人目。原田順一選手がSG優勝した時は2回とも桑原「淳一」選手が2着という印象に残っています。原田選手はSG初優勝の7年後にGI優勝を達成。

山崎選手は97年9月に桐生周年でGI優出しましたが、濱野谷憲吾選手にGI初優勝は先を越されます。ところが1か月後、SGダービーで濱野谷選手とともに乗った優勝戦でSG初優勝。そして翌年の5月桐生SGオールスターも制覇しSG優勝2回。山崎選手はあの桐生周年から1年後、同じ9月の桐生周年でGI初優勝を達成します。

今の馬場貴也選手を思うと不思議ですが、6年半ほど前(18年10月)の時点で馬場選手はまだSG優出0回、GI優出10回で優勝0回でした。GII以上で1度も予選1位通過をしたことがなかった馬場選手が18年11月チャレンジCで予選1位通過、そのままSG初優出・初優勝となりました。

そして翌年のGPシリーズで2回

表2●96年以降、SG初優出初優勝した選手の次のSG大会

登番	選手名	年月日	場	結果
3622	山崎 智也	1997/12/23	住	GPで順位決定戦へ
3227	長岡 茂一	1998/10/23	福	予選敗退
3388	今垣光太郎	1999/05/23	浦	準優3着
3558	山本 浩次	1999/10/23	戸	準優4着
3070	山室 展弘	1999/11/23	平	予選敗退
3347	矢後 剛	2000/05/23	蒲	予選敗退
3635	石田 政吾	2001/09/23	多	予選敗退
3381	滝沢 芳行	2001/11/23	児	予選敗退
3589	西村 勝	2003/06/23	平	予選敗退
3719	辻 栄蔵	2003/08/23	唐	準優3着
4019	笠原 亮	2005/05/23	津	予選敗退
3960	菊地 孝平	2005/10/23	津	予選敗退
3959	坪井 康晴	2006/07/23	若	準優5着
4012	中村 有裕	2006/10/23	福	優出5着
3946	赤岩 善生	2007/03/23	平	予選敗退
4042	丸岡 正典	2008/11/23	浜	準優6着
4168	石野 貴也	2010/08/23	蒲	予選敗退
3612	馬袋 義則	2012/05/23	浜	予選敗退
3573	前本 泰和	2014/03/23	尼	予選敗退
4266	長田 頼宗	2016/03/23	平	予選敗退
4262	馬場 貴也	2018/12/23	住	GPで順位決定戦へ
4524	深谷 知博	2020/11/23	蒲	予選敗退
4502	遠藤 エミ	2022/05/23	宮	予選敗退
4787	椎名 豊	2022/08/23	浜	予選敗退
4445	宮地 元輝	2023/03/23	平	予選敗退
5121	定松 勇樹	2024/06/23	尼	途中帰郷
4494	河合 佑樹	2024/12/23	住	GPからシリーズ準優3着
4847	佐藤隆太郎	2025/06/23	丸	優勝!!

から、1年で平均5人しか優出していないということになりま
す。その155人のうちおよそ8人に1人が優勝し、20人(0.93%)。佐藤隆太郎選手は、その優勝率0.93%を2回連続で引いたようなことと言えるのかもしれません。
SG優出0回の選手ではどうでしょうか(表

目のSG優勝。トライアル組からシリーズ戦へ下りてきた最初の優勝者でした。20年8月のびわこ周年でGI初優勝。GI優出14回目のことでした。馬場選手がGIを勝ってまだ5年も経っていないのですね(笑)。
GI優勝なくSG優勝した選手はSG↓GI↓GIのようにならぬに逆順に優勝するチャンスがあります。馬場選手まで9人が達成しています。あとGIだけとなっている辻栄蔵選手は今年2回、GI優出があります。丸岡正典選手は4年間GI優出がありません。GI優勝なしの集計ですから先にGIを優勝してSG優勝している選手もいます。その中でも椎名豊選手はGI↓SG↓GIという変則優勝を達成しています。
さてGI優勝なしでSG優勝2回は佐藤選手で4人目ですが、GI優

GI優勝したことがない選手がSGに出場したら

勝のない小畑実成・滝沢芳行・高橋勲・馬袋義則・定松勇樹選手は今も2回目のSG優勝に挑戦中とも言えます。
表1-1で96年以降の達成者は17人。それではGI優勝0回の選手が何人SGに出場して、何人が優勝まで行けたのでしょうか(表1-2)。
2153人がGI優勝経験がないままSGに出場。全体では1万2047人ですから、SGに出場している選手の18%はGI優勝経験がないのです。意外と多いと思いました。
そのうち準優に乗れた選手は571人(26.5%)。さらに優出した選手は155人(7.2%)。およそ30

SG初優出初優勝した選手の次の大会は?

SG初優出・初優勝をした28人の次のSGでの成績を調べてみました(表2)。対象のどの選手も、次のSGはF休みもなく出場できています。
驚くべきことがわかりました。28人のうち、次のSGで優出できたのは、06年ダービーの中村有裕選手と今回の佐藤選手だけ!! 前回、一気に頂点に駆け上がった選手もほぼ全選手が優出にも届いていなかったのです。ちなみに中村選手のダービーは、予選1位通過だったのですが、準優2着となり優勝戦は4号艇でした。準優1着であればと言いたところですが、福岡なので1号艇がよかったかどうかはわかりませんが(当時の福岡はインが弱かったのです)。

それだけ佐藤選手は難しく、珍しい記録を達成したと言えるでしょう。

SGオールスター出場権の権利がなかった選手のクラシック優勝

佐藤選手はそもそもオールスター出場の権利がありませんでした。クラシックで優勝し、出場権を得て勝ちました。オールスターの権利がない選手が、クラシックで優勝したケースを調べました(表3)。
98年以降の27回のクラシック優勝者のうち、その時点でオールスター出場の権利を持っていなかったのは8人だけでした。結果は8人のうち6人が予選敗退。山口剛選手と佐藤選手だけが準優に乗り、優出しました。10年5月オールスターの山口選手は予選13位から準優2着で優出5着でした。

例えばB級に落ちてオールスターの権利がなくても、前年の一般戦優勝やGI優勝などでクラシック出場の権利を持っていれば、そこで優勝し、オールスターに出場することができま

毒島誠選手がF2で来季1月以降B2級落ち濃厚という状況になっています。もちろんオーシャンCやチャレンジCもあるので、GP出場し、優出すれば、来年1月以降B2級でもSG優先出場の可能性がありま

もしもGP優出ができなかったとしても、クラシック優勝によりオールスター出場が可能です。それをやってのけたのは98年以降では佐藤選手が初めてでした。

ちなみにですが、オールスターとグラチャンだけはA2級以下の選手

表3●98年以降、オールスター権利なしでクラシック優勝

登番	選手名	最初	次	その次	その次の次
3415	松井 繁	1998/5/24/桐 優出2着	1998/6/28/宮 (準優3着)		
3499	市川 哲也	1999/3/22/児 優出4着	1999/5/23/蒲 (準優妨失)		
3622	山崎 智也	2000/11/26/住 優出3着	2001/3/20/尼 優出失格	2001/5/20/浜 (準優3着)	2001/6/24/唐 優出4着
3622	山崎 智也	2004/5/30/尼 優出5着	2004/6/27/浜 優出2着		
3285	植木 通彦	2005/9/4/若 (準優3着)	2005/10/30/津 (準優5着)		
3415	松井 繁	2008/7/27/蒲 優勝!!	2008/8/31/若 優出2着		
2992	今村 豊	2014/6/1/福 優出2着	2014/6/29/浜 優出3着		
4168	石野 貴之	2017/5/28/福 優勝!!	2017/6/25/鳴 優勝!!		
4168	石野 貴之	2019/11/24/桐 優勝!!	2020/3/22/平 (準優3着)		
3960	菊地 孝平	2022/8/28/浜 優出3着	2022/10/30/常 優出3着		
4847	佐藤隆太郎	2025/3/30/若 優勝!!	2025/6/1/丸 優勝!!		

ただし、GP出場を挟んだ場合は、記録を止めずにノーカウントとして集計。

登番	選手名	年月日	場	AS結果
3347	矢後 剛	2000/05/28	蒲	予選敗退
3589	西村 勝	2003/05/28	平	予選敗退
4019	笠原 亮	2005/05/28	常	予選敗退
4205	山口 剛	2010/05/28	浜	優出5着
3612	馬袋 義則	2012/05/28	浜	予選敗退
4502	遠藤 工ミ	2022/05/28	宮	予選敗退
4362	土屋 智則	2023/05/28	丸	予選敗退
4847	佐藤隆太郎	2025/05/28	芦	優勝!!

の出場はありませ
ん。
オーシャン
C・メモリ
アル・ダー
ビーは96年
に野中和夫
選手がB1
級で出場し
ています。
オールス
ター・グラ
チャンの
A1級以外

の最初の出場選手は、毒島選手になるかもしれないと思ったりしています。毒島選手のようにB級だった場合、今年7月のオーシャンCや来年3月のクラシックで優出完走してもグラチャンには出場できません。B級の選手が来年6月のグラチャンに出場するには、グランプリで優出するかクラシック優勝＆オールスター優勝しかないのです。

という条件をいつも考えてしまっているんですが、

記録STOP
出5着でSTOP
出エンストでSTOP
出2着でSTOP
出3着でSTOP
出4着でSTOP
継続中のまま引退
出4着でSTOP
出5着でSTOP

登番	選手名					記録STOP
1126	芹田 信吉	1962/8/6/住	1965/7/27/若	1966/9/6/住		優出5着でSTOP
2291	野中 和夫	1974/5/7/住	1974/8/13/丸	1974/10/8/住		優出エンストでSTOP
3024	西島 義和	2000/6/25/下	2000/7/20/宮	2000/8/27/若		優出2着でSTOP
3556	田中信一郎	2003/8/31/唐	2003/12/23/住	2004/12/23/住		優出3着でSTOP
3557	太田 和美	2002/12/23/住	2004/12/23/住	2005/10/30/津		優出4着でSTOP
3622	山崎 智也	2015/5/31/大	2015/6/28/宮	2015/12/23/住	2016/6/26/蒲	…継続中のまま引退
4168	石野 貴之	2019/11/24/桐	2019/12/22/住	2021/3/28/福		優出4着でSTOP
4320	峰 貴太	2020/7/26/鳴	2020/12/20/平	2021/5/31/若		優出5着でSTOP

オールスターの権利なしでクラシック↓オールスターの連続優勝を達成する選手が現れるとは。

SG2大会以上連続優勝は20件目

佐藤選手のSG連続優勝は、歴代で20件目だそうです。それらの選手の連続の1回目の優勝を調べてみると、これまでは最も少ない選手で優秀「2回目」からの連続優勝スタートでした。それは1974年の野中選手のSG3連続優勝の時。

というわけで、佐藤選手は「史上初」のSG初優出・初優勝からの2大会連続優勝だったのです。

SG2大会連続で予選1位通過

それにしても2回目のSG優出で優勝して、そこから3連続優勝を達成した野中選手の記録もとてつもの凄く凄いことです。

佐藤選手はSG2節連続で予選1位通過でもありました。これは史上11件目（表4）。この集計では、途中でグランプリを挟んだ場合は、連続記録は止めずにスキップして集計しています。そうすると、山崎選手の00年チャレンジC↓（GP出場）↓クラシック↓オールスター↓グラチャンの4連続予選1位が最長。しかし4大会とも優勝には至っていません。当時は優勝戦枠番が抽選制だったため、優出しても1枠とは限らず、また1コースが今ほど好成績でもありませんでした。

その後も2大会連続予選1位でありながら2回とも優勝というのは

難しかったようで、ようやく17年オースター↓グラチャンの石野貴之選手がSG2大会連続予選1位&優勝を達成。石野選手は2年半後にもう一度予選1位連続(途中にGPを挟む)のチャンスがありました。が、後半の20年クラシックでは準優3着に終わっています。

佐藤選手はGⅡ以上で初めての予選1位通過で、その後もGⅠ以下では予選1位がなく、SGだけで予選1位！ グラチャンは残念ながら予選敗退となりましたが、今年の獲得賞金は1億1000万円超えてGPトライアル2ndも事実上当確でしょう。佐藤選手がこの後、何を起こしてくれるか楽しみです。

SGで優出すれば連続優勝の記録

SG連続優勝は難しいとして、SGで優出した場合だけの連続優勝記述も準備しておきます。佐藤選手は6月グラチャンが終了しても2連続優勝の記録は継続中のままです。いくつかまた優出して優勝すれば「3」となり、2着以下であれば記録でSTOPとなります（表5）。

最長は山崎智也選手で15年オールスター↓グラチャン↓グランプリ↓16年グラチャンで、SG4優出4優勝。これ以上長く続けた選手はいません。山崎選手はその16年グラチャンでの優勝が最後のSG優出となり、引退。記録継続中のままでした。

現役継続中の最長は2連続優勝で佐藤選手だけ。1は定松選手や羽野選手、遠藤エミ選手、毒島選手などが該当します。